

「国破れて山河あり、城春にして草木深し」という漢詩を国語の授業で学んだと思います。人間の社会がいかに揺れ動こうと自然の営みは変わることはなく、今年もまた、春が巡ってきました。空気も風もそして芽吹き始めた草花たちも、春の到来を喜び、春の恵みの暖かな雨も皆を祝福してくれています。本日は、春日部市教育委員会学校教育部学務指導担当部長柳田敏夫様のご臨席を賜り、また、昨年度から一歩進み、三年生の保護者の皆様をお迎えして、春日部市立飯沼中学校第三十九回卒業証書授与式を挙げていきますことに、本校教職員を代表し、感謝を申し上げます。

また、今日まで本校の三年生の生徒達を支え、導いてくださった多くの方々、とりわけ、十五年間、優しく、温かく、時に厳しく、お子さまの成長を誰よりも深い愛情を持ち、一番近くで見守り、支え続けてくださった保護者の皆様に、本校の教育活動を支えてくださったことをも含め、心からのお礼と祝意を申し上げます。本日は、お子様のご卒業おめでとうございます。これまでの子育ての苦労や喜びが走馬灯のように脳裏をよぎり、感慨もひとしおのこととお察しいたします。義務教育が修了するとはいえ、まだまだ保護者のお力添えが必要なことがたくさんあります。今後とも、お子様の成長を付かず離れずの距離で見守ってくださいますようお願い申し上げます。

さて、三年生の生徒諸君、諸君らの三年間に及ぶ本校での研鑽が実を結び、卒業の時を迎えました。今日までよくがんばったことに本校職員を代表して祝意を述べる。卒業おめでとう。諸君らにとって、この飯沼中学校で過ごした三年間のうち、はじめの二年間は、自然豊かな環境で、本校の伝統となっている、伸び伸びとした校風に沿って、心穏やかに過ごしたことと思われまふ。しかし、ちょうど一年前の春、新型コロナウイルスが世界中を脅かし、日本国内では、三月から五月までの三ヶ月間にも及ぶ全国一斉の休校となりました。六月に学校は再開しましたが、体育祭、合唱祭、部活動の大会やコンクール、そして中学生にとって最大の楽しみであるはずの修学旅行までも、ことごとく中止となりました。近隣市町の中学校では、修学旅行に行った学校もありましたし、市内でも体育祭や合唱祭を行った学校もありました。しかし本校は、「学校とは、子供たちを家庭・地域そして未来から預かっている場所であり、深い愛情をもとに、生徒の命、そして生徒と共に生きる御家族の命は、最優先に守られるべきものである」という信念に立ち、苦渋の決断を何度もしました。修学旅行に行った学校も体育祭や合唱祭を行った学校も結果的には、無事に行事を終えたと聞いていますが、もし時計を戻せたと

しても、本校の決断が変わることはありません。こうして本日、百十名の生徒全員が無事に卒業を迎え、卒業証書を授与することができました。希望に満ち溢れた卒業後の進路も全員、決めることができました。今、ここで改めて、全員が無事に飯沼中学校を卒業できることの重みを共に深く考えよう。この一年間の社会情勢を考えれば、このことは、決して当たり前のことではなく、本校の教職員と保護者・地域の皆様、そして生徒諸君らが、それぞれの立場で、知恵を出し、汗を流し、よく我慢をし、力を結集したからこそ、なんとか今日を迎えることができたのです。

そんな大変な一年ではありましたが、君達は、毎日健気に、笑顔を絶やさず、この学び舎で、仲間と共に学び、爽やかな汗を流し、友情を育てていました。その姿を見るにつけ、本校教職員は、「行事がなくなっても注ぐ愛情は変わらない」という合言葉を胸に、最後の最後まで生徒を愛し、教育活動に専念し、最高の笑顔で生徒を送り出そうと、何度も何度も決意を新たにしました。

今日は、本校を卒業していく諸君たちに、卒業のはなむけとして、校長の私から1つ話をしたい。医療がひっ迫し、経済も停滞している、歴史に残る悲惨な惨状が、今日も日本はおろか世界中で見られる。しかし、私は、今この時だからこそ、諸君らを未来に送り出したいとも思う。なぜなら、飯沼中学校の教育を受け、卒業していく者達は、優しさと自主実行の精神に満ち溢れ、どんなことにも負けずに、高い理想を掲げ努力をする、しなやかで強い人間に成長しているからである。この先の人生において、時には苦かったり、渋く思う出来事もあるだろう。懸命に取り組んだことでも負けてしまうこともあるかもしれない。しかし、飯沼中の卒業生は、負けに負けることはない。負けや失敗を糧に、明るい未来を築けると確信している。諸君たちが未来を切り拓き、より良く生きることで、この歴史的な出来事の期間、飯沼中学校で過ごし、仲間と切磋琢磨し、たくさんの方々に愛情を注いでいただいたことがすべて良かったと思える日が必ず来ます。

別れの時が来た。別れは辛く寂しいものではあるが、同時に新たな出会いや希望が君を待っている。この学び舎を巣立つにあたり、今ここで、新たな誓いを共に立てよう。皆それぞれ道は違えど、「より良い明日を、より良き未来を共に創ろう」。

さあ、振り向かずに行きなさい。

巣立ち行く諸君の限りない可能性と、今後の活躍を祈念すると共に、御多用の中、御臨席を賜りました御来賓並びに保護者の皆様に重ねてお礼を申し上げ、式辞といたします。

令和三年三月十三日 春日部市立飯沼中学校長